

平成29年9月1日

保護者様

京都市立深草小学校
校長 清川 秀一

平成29年度 前期学校評価アンケートの結果

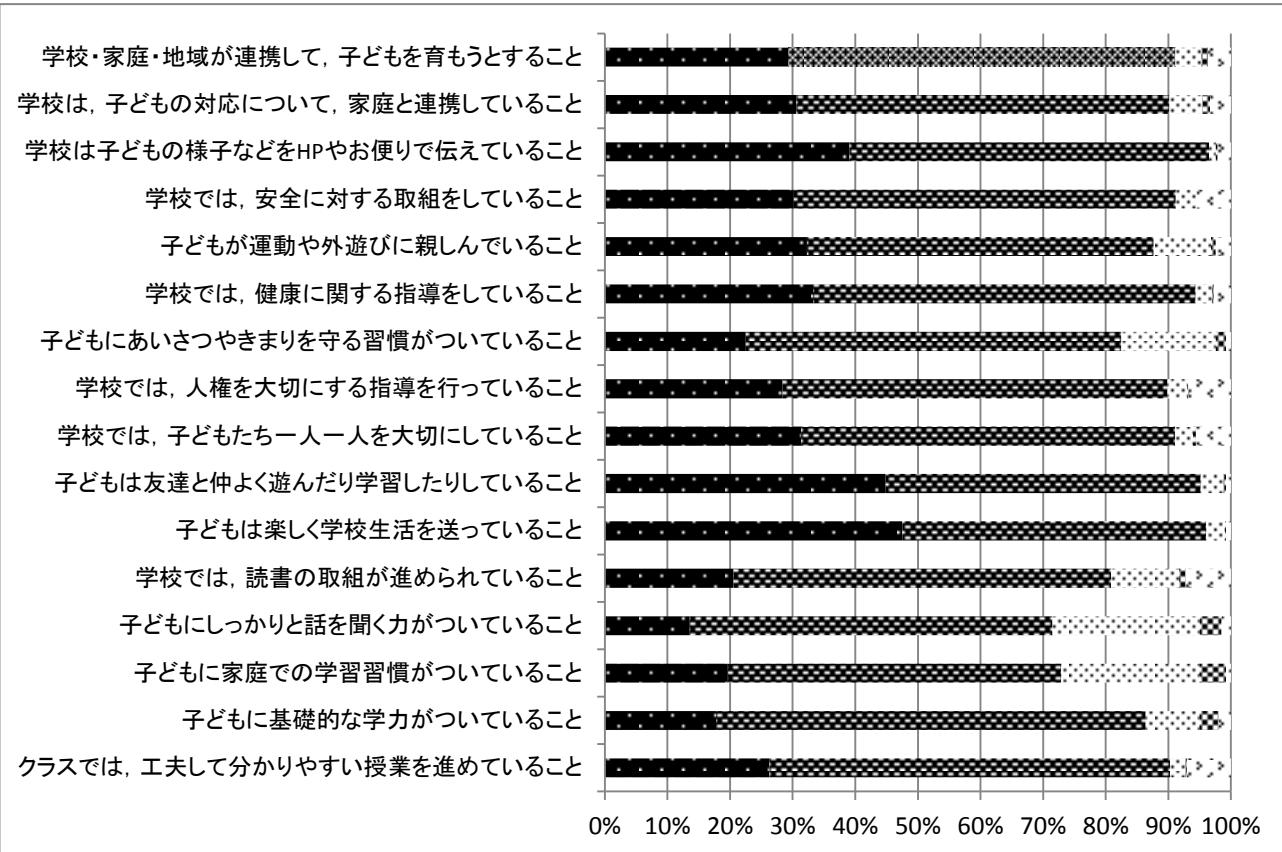
初秋の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のことと存じます。平素は本校教育にご理解、ご協力を頂き、誠にありがとうございます。

さて、7月に行いました学校評価アンケートの結果についてご報告いたします。アンケートは保護者、児童から調査を行い、グラフに表しました。

グラフは左から「よくできている」「大体できている」「あまりできていない」「できていない」で、保護者アンケートはいちばん右に「わからない」を表示しています。

アンケート結果を今後の学校運営に活かしていくよう、努力していきたいと思いますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

①保護者のアンケートより

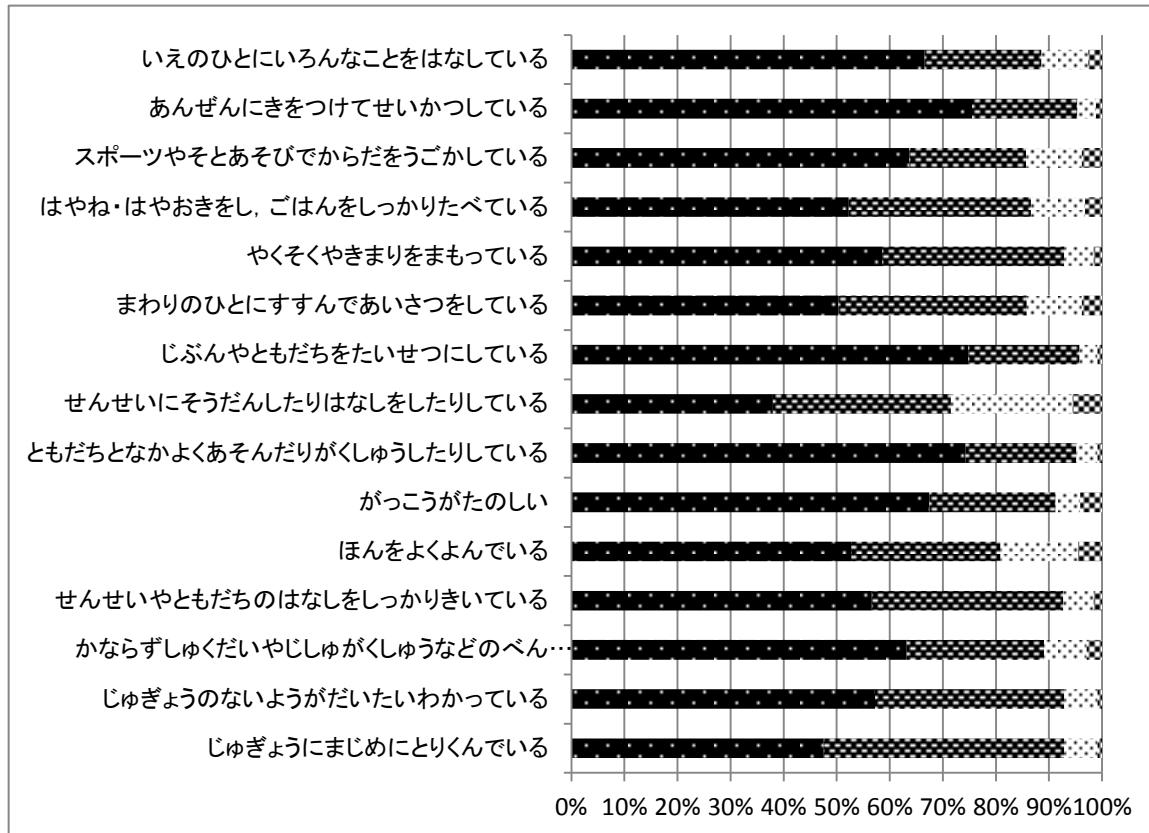


保護者アンケートの結果、昨年の前期の結果と比べると、全ての項目においてプラス評価（「よくできている」と「大体できている」）が伸びました。プラス評価が特に伸びていたのは、「学校では、読書の取組が進められていること」で、約6%向上し、80.8%でした。伸びているとはいっても、昨年の76%と同様に、まだまだ学校での読書の取組を進めていく必要があります。また、「学校は子どもの様子などをHPやお便りで伝えていること」においては約4%向上し96.5%となりました。保護者の皆様に学校での子どもたちの様子を今後もお伝えしていきたいと思います。

「子どもに家庭での学習習慣がついていること」もプラス評価で伸びましたが、73%でした。4分の1のご家庭で、家庭学習の習慣がついていないことになりますので、引き続きご家庭と協力していきたいと考えています。

「学校・家庭・地域が連携して、子どもを育もうとすること」では約4%向上して91%のプラス評価となりました。本校の子ども達はいろいろなところで家庭・地域の協力を得て、育ってきています。安心安全ボランティアの方々から「あいさつができるようになりましたね。」と言っていただけるようになってきています。今後も学校・家庭・地域が連携あって子どもを育てていきたいと考えています。ご協力よろしくお願いします。

②児童のアンケートより



児童アンケートの結果の中で昨年に比べプラス評価が一番向上したのは、「かならずしゅくだいやじしゅがくしゅうなどのべんきょうをしている」の項目で3.2%向上し、89.0%となりました。少しずつではありますが、家で勉強をする習慣がついてきているように思います。

プラス評価が高いのは、「じぶんやともだちをたいせつにしている」、「ともだちとなかよくあそんだりがくしゅうしたりしている」、「あんぜんにきをつけてせいかつしている」、「せんせいやともだちのはなしをしっかりきいている」、「じゅぎょうにまじめにとりくんでいる」、「じゅぎょうのないようがだいたいわかつっている」、「がっこうがたのしい」、「やくそくやきまりをまもっている」の8項目が90%を超える結果です。全体で一番高かったのは「じぶんやともだちをたいせつにしている」で95.7%でした。人権委員会での毎回の人権目標を意識することで、プラス評価が向上したのではないかでしょうか。

「せんせいにそうだんしたりはなしをしたりしている」の項目では、一番プラス評価が低く、71.6%です。昨年よりは約3%ほど向上しているのですが、いじめの防止や早期発見の為にも、担任のほうから気を配る必要があります。

「まわりのひとにすすんであいさつをしている」の項目では昨年より3.1%向上し、85.9%となりました。一昨年から2年連続で3%以上向上しています。とてもいい傾向にあります。この調子でどんどんあいさつをしてほしいと思います。

両方のアンケートの結果については教職員で共通理解を図ることで、今後も改善に努めていきたいと思います。教職員一同、深草小の子ども達のために力を尽くしていきますので、ご支援・ご協力をお願いします。